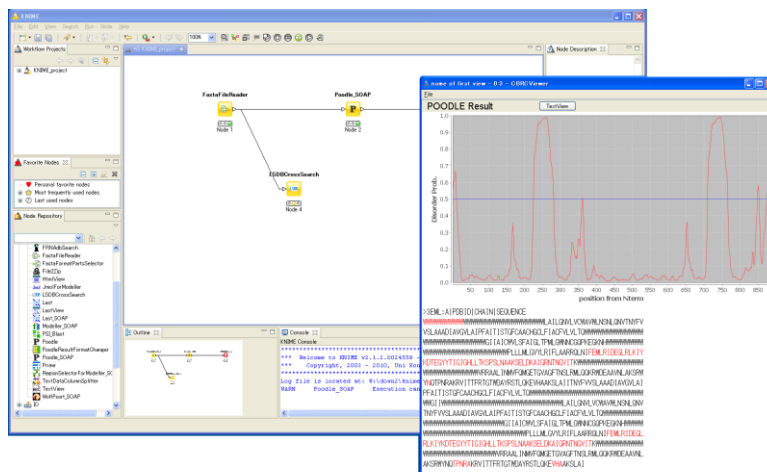


# アクティブ POODLE ワークフロー

<http://togo.cbrc.jp>



## ○ アクティブ POODLE ワークフローとは

生命情報工学研究センターで開発しているタンパク質のディスオーダー領域（立体構造を形成しない領域）を機会学習により予測するツール POODLE を、ユーザーがワークフロープラットフォームで利用できるサービスです。

## ○ アクティブ POODLE ワークフローの特徴

- ・ 目的や用途に応じてカスタマイズ可能

配布しているワークフローは、KNIME 環境で作動するため、ユーザーは、POODLE ワークフローやそれ以外のものなど、さまざまな部品を組み合わせて画面上でワークフローを構築し、目的・用途に応じてカスタマイズすることができます。組み合わせて使える部品には DBCLS の横断検索もあります。

※KNIME：ドイツの Konstanz 大学で開発されたワークフロープラットフォームで、視覚的なワークフローの作成や解析ステップの選択的な実施、データと解析を別々のウィンドウで表示するなどの特徴があります。詳細は <http://www.knime.org/> をご覧ください。

- ・ Windows 32bit 版に対応しています。

## ○ 利用例

- ・ POODLE の実行後、マウスによるドラッグ&ドロップで特定の統計解析などを実行できるようにプログラムを書き換える。

## ○ 今後の開発予定

- ・ バージョンアップ：不具合箇所の修正、処理時間の短縮、機能拡張などを不定期に実施します。
- ・ ユーザーの要望を積極的に取り入れて、よりよいシステムに改良していきます。

## ○ ご質問やご意見はこちらまで [workflow@cbrc.jp](mailto:workflow@cbrc.jp)

(2010年6月現在)